

令和6年度 一般財団法人松本市芸術文化振興財団 事業報告書 (令和6年4月1日～令和7年3月31日)

第1 財団運営の総括

1 会議の開催状況

年月日	名称	提出議案等
6.4.1	第1回理事会(書面決議)	・評議員会の招集及び常務理事の選任について
4.1	第1回評議員会(書面決議)	・理事の選任及び評議員の辞任について
6.21	第2回理事会	・評議員の選任及び任期満了に伴う理事の選任について ・令和5年度事業報告及び決算報告について ・評議員会の招集について
6.27	第2回評議員会	・評議員の選任及び任期満了に伴う理事の選任について ・令和5年度事業報告及び決算報告について
6.27	第3回理事会(書面決議)	・代表理事の再任について
10.9	第1回評議員・理事・監事合同会議	・令和6年度中間事業報告について
12.20	第2回評議員・理事・監事合同会議	・令和7年度事業概要について ・芸術監督団 団長から 令和7年度の活動等について
7.3.12	第4回理事会	・令和6年度収支補正予算(第1号)について ・令和7年度事業計画及び収支予算について ・評議員会の招集について
3.21	第3回評議員会	・令和6年度収支補正予算(第1号)について ・令和7年度事業計画及び収支予算について ・芸術監督団から 令和6年度の振り返り及び令和7年度の活動について

2 所管業務

令和6年度は、引き続き松本市から指定管理者の指定を受けて、美術館施設2館、文化芸術施設3館の管理運営を行いました。

施設ごとに運営目標を定め、市民の文化芸術にふれる機会や活動の場の提供により文化芸術活動の推進に努めました。また、自主事業については 各施設の強みを生かした事業を実施するとともに、地元にはゆかりのある出演者による公演や芸術性の高い作品から娯楽性のある作品の公演などを幅広く行うことで、市民に親しまれる館運営を行いました。

教育、福祉、観光など、あらゆる分野で文化芸術の力が活用されるよう様々な分野と連携し、地域活性化や観光振興に寄与するよう努めました。

3 財団の組織強化

(1) 経営の健全化

会計・税務事務を適正に執り行うため、引き続き税理士などの専門家から支援を受け、職員のコンプライアンス意識の高揚とコスト意識向上を徹底しました。

事業の実施にあたっては、事業収入の向上や補助金などの活用により、事業の充実を図り、健全な運営を行いました。

(2) 財団改革

適正かつ効率的な組織とするため、職員数、給与等の適正化や業務内容に相応しい人材の確保に努めました。

また、各種労働関係法に適切に対応するために社会保険労務士のアドバイスを受けるとともに、適正な人材配置や効率的な業務プロセスの構築など、機動的な組織整備を実現しました。

(3) 連携強化

令和5年度から、文化芸術施設3館の一括での指定管理受託が開始となり、今まで以上に館同士の連携を図りました。連携強化の一環としてグループウェアを導入し、より一層の情報共有を図るとともに、組織全体での接遇研修を実施するなど、財団一体での取組みを行いました。また、施設間のみならず、様々な分野で活動している団体や企業、文化施設との連携を深め、文化事業の充実を図る事業を展開するなど、新たな鑑賞者層の拡大に努めました。

4 職員体制

令和7年3月31日

単位：人

施設等	区分	全体統括者	人数	事務的・技術的責任者	人数	企画・調整職	人数	一般職	人数	計
事務局	市	局長	1	次長兼会計課長	1	次長補佐兼会計係長	1			3
	財団							一般事務	2	2
	計		1		1		1		2	5
松本市美術館	市			副館長	1	副館長補佐	2	主事	1	4
	財団					ショップ店長	1	一般事務	1	2
	計				1		3		2	6
松本市梓川アカデミア館	市			館長（美術館副館長兼務）	(1)	館長補佐（美術館副館長補佐兼務）	(2)	主事（美術館主事兼務）	(1)	
	財団							一般事務 学芸員	1 1	2
	計								2	2
松本市音楽文化ホール	財団	館長		館長補佐	1	係長		一般事務 企画制作	6 1	8
	計				1				7	8
まつもと市民芸術館		芸術監督団	(3)	館長補佐	1	プロデューサー	1	一般事務	5	
	財団	館長	1			係長	1	企画制作 舞台技術	3 7	19
	計		1		1		2		15	19
松本市波田文化センター	財団	館長	1			係長	1			2
	計		1				1			2
合計	市		1		2		3		1	7
	財団		2		2		4		27	35
	計		3		4		7		28	42

第2 各施設の事業報告

I 松本市美術館

1 基本目標

- (1) 松本市美術館が公立の施設であることを十分認識し、利用者サービスの向上及び施設の適切な維持管理に取り組みます。
- (2) 美術館が目指す「四つの場」《鑑賞・表現・学習・交流の場》を踏まえた施設の管理運営を行い、美術館が生涯学習の拠点として市民に親しまれ、生きがいと潤いのある市民文化の醸成が図られることを目指します。

《鑑賞の場》	美術資料の鑑賞に適した展示環境を創出し、地域や世界の優れた美術作品を身近に鑑賞できる機会の充実
《表現の場》	市民の芸術活動の発表や展示ができる表現の場の提供を通して、未来への発展を展望する美術遺産の創成
《学習の場》	生涯学習を推進する学習拠点として、各種学習機会を市民に提供し、未来の芸術文化の担い手となる人材の育成を図り芸術文化に親しむ環境づくり
《交流の場》	美術館活動を通じて地域に開かれた身近で親しみやすい交流の場、ふれあいの機会の充実

2 令和6年度の重点的な取組みの成果

- (1) 来館者サービス・施設管理業務
お客さまが気持ちよく施設を利用することができるよう、全企画展へのオンラインチケットの導入など、ホスピタリティ(おもてなし)や利便性の向上に努めました。
- (2) ミュージアムショップ運営業務
常設・企画展示室に続く第3の展示室と位置づけ、展覧会、イベントなどに連動した企画・販売や所蔵品、所蔵作家や地域をテーマとした企画・販売を行い、2億円以上の売り上げを達成しました。
- (3) 環境整備
施設の適正な維持保全を通じて、来館者の満足に結びつく環境づくりに努めました。また、災害時の避難誘導体制などの強化として、火災の発生を想定した避難訓練を行いました。

3 利用促進対策の成果

- (1) 施設管理業務等に関しては、来館者アンケートなど利用者の意見を参考に運営の改善を図り、リピート利用の促進に努めました。(アンケート回答者:805人)
- (2) 美術館の魅力を大勢の方に伝えるべく、下記のとおり広報活動を行いました。
・「るるぶ信州'25 3月」へのPR広告出稿

施設利用状況

1 観覧者数 開館日数 311日

区 分		6年度	5年度	前年度対比	
				増 減	増減率
有 料	個 人	191,074 ^人	192,777 ^人	△ 1,703 ^人	△ 0.9 [%]
	団 体	7,473	6,171	1,302	21.1
	計	198,547	198,948	△ 401	△ 0.2
無 料		36,739	45,361	△ 8,622	△ 19.0
合 計		235,286	217,768 ※	17,518	8.0

※「映画監督 山崎貴の世界」展はコレクション展と別の観覧券であったことから、両方購入した場合は入場者数が二重計上されていたため、合計人数は実入場者の数とした。

2 施設別利用状況

区 分		6年度	5年度	前年度対比	
				増 減	増減率
市民 ギャラリー	利用日数	243 ^{日/%}	246 ^{日/%}	△ 3.0 ^{日/ポイント}	△ 1.2 [%]
	利用可能日数	311	314	△ 3.0	△ 1.0
	利用率	78.1	78.3	△ 0.2	
講座室・ 市民アトリエ	利用日数	173	111	62.0	55.9
	利用可能日数	311	314	△ 3.0	△ 1.0
	利用率	55.6	35.4	20.2	
多目的 ホール	利用日数	121	105	16.0	15.2
	利用可能日数	311	314	△ 3.0	△ 1.0
	利用率	38.9	33.4	5.5	

3 施設利用者数

区 分	6年度		5年度		前年度対比		
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	増減率
市民ギャラリー等	63 ^件	79,485 ^人	48 ^件	64,369 ^人	15 ^件	15,116 ^人	23.5 [%]
講座・講演会・コンサート等	286	5,299	234	9,420	52	△ 4,121	△ 43.7
合 計	349	84,784	282	73,789	67	10,995	14.9

4 利用料金収入【参考】

区 分	6年度	5年度	前年度対比	
			増 減	増減率
施設使用料	4,674,990 ^円	4,412,440 ^円	262,550 ^円	6.0 [%]

Ⅱ 梓川アカデミア館

1 基本目標

- (1) 松本市梓川アカデミア館が公立の施設であることを十分認識し、法令を遵守するとともに、利用者サービスの向上に取り組みます。

梓川地区の歴史と文化遺産を今に伝える資料展示のほか、松本市西部地区の文化・芸術の拠点として市民に親しまれ、生きがいや潤いのある市民文化の醸成が図られることを目指します。

2 令和6年度の重点的な取組みの成果

- (1) 松本市美術館と一体管理のため、業務にあたっては美術館と連携しながら管理運営を行いました。
- (2) 施設利用者の満足度向上を目指し、親切・丁寧な対応を心がけました。
- (3) 施設全体を清潔な状態に保ち、利用者に気持ち良くご利用いただくため、館内の美化に努めました。
- (4) 貸室展示の看板のデザインを一新し、来館者に目につきやすいようにしました。
- (5) チラシのデザインを一新し、手に取ってもらえる物になるよう心がけました。
- (6) 音楽コンサートを開催し、地域の方々に演奏を楽しんでいただきました。

3 利用促進対策の成果

- (1) 1階アクセスギャラリーを「みんなのアトリエ」として一般開放し、新規利用につなぐきっかけとなるよう働きかけました。「みんなのアトリエ」は地域の方々の発表の場として、6年度は14件の利用がありました。
- (2) 地域の解説ボランティア5名が民俗資料説明コンシェルジュとして協力し活動することで、交流促進や高齢者の生きがいづくりにつながりました。
- (3) 幅広い年齢層を対象に開催したワークショップでは、伝統文化や、専門的な知識・技術を学び、美術・施設に関心を持っていただく機会づくりとなりました。
- (4) 広報誌「アカデミア館便り」を発行し、主に梓川地区・波田地区に配布。また、プレスリリースによるマスコミへの情報発信や発送先の選別により効果的な周知に努めました。
- (5) 幅広い年齢層を対象としたワークショップを各種開催し、好評をいただきました。特に令和6年度に新しく学都松本推進事業の一環として開催した、未就学児を対象とした連続講座「アートのABC」は申込枠が即日埋まるなど、反響の大きいものとなりました。

施設利用状況

1 観覧者数 開館日数 307日

区 分		6年度	5年度	前年度対比	
				増 減	増減率
常設展・ コレクション 展	有 料	人 819	人 496	人 323	% 65.1
	無 料	1,192	821	371	45.2
	計	2,011	1,317	694	52.7
企画展		2,835	2,207	628	28.5
合 計		4,846	3,524	1,322	37.5

2 施設別利用状況

区 分		6年度	5年度	前年度対比	
				増 減	増減率
ギャラリー	利用日数	日/% 173	日/% 201	日/ポイント △ 28.0	% △ 13.9
	利用可能日数	307	309	△ 2.0	△ 0.6
	利用率	56.4	65.0	△ 8.6	
第2ギャラリー	利用日数	209	209	0.0	0.0
	利用可能日数	307	309	△ 2.0	△ 0.6
	利用率	68.1	67.6	0.5	
アクセス ギャラリー	利用日数	212	145	67.0	46.2
	利用可能日数	307	309	△ 2.0	△ 0.6
	利用率	69.1	46.9	22.2	
屋外施設	利用日数	7	3	4.0	133.3
	利用可能日数	307	309	△ 2.0	△ 0.6
	利用率	2.3	1.0	1.3	

3 施設利用者数

区 分	6年度		5年度		前年度対比		
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	増減率
ギャラリー・第2ギャラリー	件 36	人 9,666	件 44	人 11,038	件 △ 8	人 △ 1,372	% △ 12.4
アクセスギャラリー	14	8,960	12	13,473	2	△ 4,513	△ 33.5
屋外施設	1	628	1	1,526	0	△ 898	△ 58.8
主催事業等	12	177	6	212	6	△ 35	△ 16.5
合 計(延べ人数)	63	19,431	63	26,249	0	△ 6,818	△ 26.0

4 利用料金収入【参考】

区 分	6年度	5年度	前年度対比	
			増 減	増減率
施設使用料	円 482,020	円 767,400	円 △ 285,380	% △ 37.2

Ⅲ 松本市音楽文化ホール

1 基本目標

市民の音楽文化の振興と福祉の増進を図ることを目的に設置された施設として、また音楽文化に係る創作、研究、練習、発表及び鑑賞などのための専門性の高い施設として、次の項目を基本目標に掲げ、管理・運営を行います。

- (1) 音楽専門ホールとして、国内外の優れた音楽家を招聘し、世界最高水準の演奏を提供するとともに、優れた演奏家による高校生などを対象としたクリニックの開催を通じ、音楽技術の向上を図ります。
- (2) 松本市出身者や松本市在住で活躍している演奏家による演奏会やセミナーを企画するとともに、市民や音楽団体との共催事業を通じて市民の音楽文化の向上を図ります。
- (3) 県内唯一のコンサート用オルガン及びホール所有のチェンバロを活用した演奏会や講習会などを開催し、特色ある事業を展開します。
- (4) 地域に密着した施設として、音楽愛好団体などへの活動支援や積極的な育成援助を行います。

2 令和6年度の重点的な取組みの成果

- (1) 優れた音響を誇る音楽専門ホールにふさわしく、国内外の最高のクオリティの演奏家を招き、市民の音楽経験を豊かなものとするべく事業を企画しました。公演チケットをインターネットから購入できるよう仕組みを整えたことで、主催事業の完売公演も4公演、集客数も前年度から増加といった成果が出ました。
- (2) 長野県出身者が出演する公演や、松本地域の音楽文化の発展を長年担ってきた音楽団体との協働事業を企画し、地元密着型の音楽専用ホールの魅力をさらに向上させることができました。
- (3) ホールオルガニストの着任に伴い、ホールの重厚なオルガンの音色に合わせたプログラムづくりを意識してコンサートを企画しました。満席公演が続き、期待をいただいている実感を得ることができました。

3 利用促進対策の成果

- (1) 令和5年度に引き続き、ホームページの内容を整え、利用者・来館者双方へわかりやすい情報提供に努めました。常連団体に加え、新規利用者、興行利用者が増加しました。
- (2) インターネットからチケットが購入できる「Gettii」のシステムを導入し、友の会の入会システムも一新しました。入会手続きや支払い方法にオンラインやコンビニ決済を追加したことで利便性が向上し、ホール友の会の会員数が増加しました。集客が増えた要因の一つと捉えています。
- (3) 令和7年度のホール開館40周年に向け、新聞などのメディアを積極的に使いホールの魅力を周知しました。主催事業だけでなく、共催事業や貸館事業でも満席公演が増え、ホールの認知度をより高めることができました。

施設利用状況

1 施設別利用状況

区 分		6年度	5年度	前年度対比	
				増 減	増減率
メインホール	利用日数	日／% 228	日／% 258	日／ポイント △ 30.0	% △ 11.6
	利用可能日数	260	278	△ 18.0	△ 6.5
	利用率	87.7	92.8	△ 5.1	
小ホール	利用日数	288	286	2.0	0.7
	利用可能日数	299	298	1.0	0.3
	利用率	96.3	96.0	0.3	
練習室	利用日数	279	283	△ 4.0	△ 1.4
	利用可能日数	299	299	0.0	0.0
	利用率	93.3	94.6	△ 1.3	

※メインホールは改修工事のため2/17～3/31まで閉館

2 来館者数

区 分	6年度		5年度		前年度対比		
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	増減率
メインホール	件 591	人 42,825	件 680	人 44,299	件 △ 89	人 △ 1,474	% △ 3.3
小ホール	775	15,870	750	14,196	25	1,674	11.8
練習室	1,707	10,515	1,718	9,475	△ 11	1,040	11.0
合 計	3,073	69,210	3,148	67,970	△ 75	1,240	1.8

3 利用料金収入

目 標	利用料金収入	19,600,000 円
-----	--------	--------------

区 分	6年度	5年度	前年度対比	
			増 減	増減率
ホール利用料	円 5,308,585	円 6,237,755	円 △ 929,170	% △ 14.9
練習室利用料	2,137,270	2,124,495	12,775	0.6
設備利用料	9,331,800	10,616,310	△ 1,284,510	△ 12.1
合 計	16,777,655	18,978,560	△ 2,200,905	△ 11.6

IV まつもと市民芸術館

1 基本目標

まつもと市民芸術館管理運営方針に定める「目指す姿」達成のため、次の項目（運営の柱）を掲げ、管理・運営を行うこととします。

(1) 目指す姿

誰もが文化芸術に親しみ、創造できる環境を整えることにより、市民の心の豊かさを育むとともに、まちの賑わいにつなげます。

(2) 運営の柱

ア 質の高い水準の芸術文化を創造・鑑賞する場とします。

イ 市民の芸術文化の創造を支援し、交流・発表の場とします。

ウ 次代を担う子どもたちに必要な力を養う場とします。

エ 松本のまち全体に活気をもたらす場とします。

オ 多様な人材によるスタッフの雇用に努めます。

2 令和6年度の重点的な取組みの成果

(1) 芸術監督団のもと、社会情勢の変化とともに多様化し、より専門家している文化芸術へのニーズに対応した古典から、先進的なコンテンポラリーダンスまで幅広いジャンルの公演を行いました。

(2) 「松本発」のクリエイション作品を初めて大阪でも上演しました。またフリースペースや特設劇場など、芸術館の設備や特徴を活かしたユニークベニューでの公演を行いました。

(3) 次代を担う子どもたちの想像力、創造力、またコミュニケーション力を養い、芸術文化に触れる機会創出のため、親子で鑑賞できる作品を招聘し、親子券など安価で提供しました。

(4) 市民、地元企業との協働による街全体を舞台としたイベントを継続して実施しました。また、次世代、多様性を重視したにぎわい創出のため、シアターパークなどの市民が自由に出入りできるスペースの有効活用を行いました。

3 利用促進対策の成果

(1) 松本市が制定した芸術文化団体登録制度に沿って、令和6年12月1日から申請受付を始めました。令和7年4月1日現在で2団体の登録があり、引き続きこうした文化団体への支援を継続させていきます。

(2) 2年ぶりのバックステージツアーには約300名の応募があり、抽選の結果100名の参加者により3回のツアーを行いました。春休みシーズンでもあり子どもから大人まで参加いただき、普段入ることのできない劇場の裏側や舞台スタッフの仕事を通じて、芸術館に親近感と関心を持ってもらう良い機会となりました。

(3) 中学校の職場体験(2校)、高校の探求の時間(64名)、インターン生の受入れ(2名)などを通じて次代を担う子どもや若者の芸術文化および芸術館への理解を深めてもらいました。

施設利用状況

1 施設別利用状況

区 分			6年度	5年度	前年度対比	
					増 減	増減率
主ホール	利用日数	自主事業	日/% 67	日/% 62	日/ポイント 5.0	% 8.1
		貸館(市主催)	33	30	3.0	10.0
		貸館(一般)	113	131	△ 18.0	△ 13.7
	利用日数		213	223	△ 10.0	△ 4.5
	利用可能日数		302	283	19.0	6.7
	利用率		70.5	78.8	△ 8.3	
小ホール	利用日数	自主事業	48	23	25.0	108.7
		貸館(市主催)	26	16	10.0	62.5
		貸館(一般)	150	179	△ 29.0	△ 16.2
	利用日数		224	218	6.0	2.8
	利用可能日数		310	287	23.0	8.0
	利用率		72.3	76.0	△ 3.7	
オープンスタジオ	利用日数	自主事業	88	98	△ 10.0	△ 10.2
		貸館(市主催)	39	20	19.0	95.0
		貸館(一般)	81	87	△ 6.0	△ 6.9
	利用日数		208	205	3.0	1.5
	利用可能日数		330	316	14.0	4.4
	利用率		63.0	64.9	△ 1.9	
スタジオ2	利用日数	自主事業	72	118	△ 46.0	△ 39.0
		貸館(市主催)	24	0	24.0	皆増
		貸館(一般)	62	74	△ 12.0	△ 16.2
	利用日数		158	192	△ 34.0	△ 17.7
	利用可能日数		329	315	14.0	4.4
	利用率		48.0	61.0	△ 13.0	
スタジオ3	利用日数	自主事業	28	67	△ 39.0	△ 58.2
		貸館(市主催)	36	2	34.0	1,700.0
		貸館(一般)	80	96	△ 16.0	△ 16.7
	利用日数		144	165	△ 21.0	△ 12.7
	利用可能日数		329	320	9.0	2.8
	利用率		43.8	51.6	△ 7.8	
スタジオ4	利用日数	自主事業	14	59	△ 45.0	△ 76.3
		貸館(市主催)	31	0	31.0	皆増
		貸館(一般)	65	68	△ 3.0	△ 4.4
	利用日数		110	127	△ 17.0	△ 13.4
	利用可能日数		329	321	8.0	2.5
	利用率		33.4	39.6	△ 6.2	

M2会議室	利用日数	自主事業	31	50	△ 19.0	△ 38.0
		貸館(市主催)	43	5	38.0	760.0
		貸館(一般)	81	106	△ 25.0	△ 23.6
	利用日数		155	161	△ 6.0	△ 3.7
	利用可能日数		329	324	5.0	1.5
	利用率		47.1	49.7	△ 2.6	

2 来館者数

区 分			6年度		5年度		前年度対比		
			件数	人数	件数	人数	件数	人数	増減率
主 ホ ー ル	音楽系	クラシック	15	38,510	6	29,913	9	8,597	28.7
		ポピュラー	9		17		△ 8		
		邦楽	2		2		0		
		その他	7		0		7		
		オペラ	3		5		△ 2		
	芸能系	ミュージカル	1	29,251	1	22,144	0	7,107	32.1
		演劇	21		21		0		
		古典芸能	8		4		4		
	舞踊系	バレエ・日舞・ダンス	8	3,262	10	4,344	△ 2	△ 1,082	△ 24.9
	その他	大会・集会・収録・リハーサル	36	17,186	59	46,114	△ 23	△ 28,928	△ 62.7
計		110	88,209	125	102,515	△ 15	△ 14,306	△ 14.0	
小 ホ ー ル	音楽系	クラシック	22	5,530	18	5,454	4	76	1.4
		ポピュラー	8		11		△ 3		
		邦楽	3		3		0		
		その他	8		4		4		
	芸能系	演劇	9	4,775	15	3,151	△ 6	1,624	51.5
		古典芸能	5		6		△ 1		
	舞踊系	バレエ・日舞・ダンス	4	567	3	361	1	206	57.1
	その他	大会・集会・収録・リハーサル	74	7,774	98	11,283	△ 24	△ 3,509	△ 31.1
	計		133	18,646	158	20,249	△ 25	△ 1,603	△ 7.9
スタジオ・会議室			-	12,726	-	15,356	-	△ 2,630	△ 17.1
見学他			-	47,601	-	63,225	-	△ 15,624	△ 24.7
合 計			243	167,182	283	201,345	△ 40	△ 34,163	△ 17.0

3 利用料金収入

目 標	利用料金収入	38,000,000 円
-----	--------	--------------

区 分	6年度	5年度	前年度対比	
			増 減	増減率
利用料金	35,497,280 円	40,755,330 円	△ 5,258,050 円	△ 12.9 %

1 基本目標

- (1) 小ホールながら多目的な利用ができる特徴を活かした幅広い利用を図ります。
- (2) 自主事業においては、西部地域の学校や団体との関わりを大切にし、鑑賞の場だけではなく、アウトリーチなどを引き続き積極的に行っていきます。
- (3) 貸館にあたっては、地域に密着した施設として音楽愛好家団体などの活動援助をする一方で、広く利用いただけるように努めます。

2 令和6年度の重点的な取組みの成果

- (1) 子ども向け新規企画を上演しました。障害のある人にも楽しんでもらえるように、オーディオガイド、手話通訳をつけて上演しました。また、公演に関連付けて身体表現の楽しさを体験するジャグリングワークショップを開催して、親子で楽しんでいただきました。
- (2) 映画上映会では、中高年層を対象とした外国映画を1作品、日本映画を2作品と、国立映画アーカイブの優秀映画鑑賞推進事業と連携して「35mmフィルム映写機による特別上映会」を実施し、おもに日本映画の名作を鑑賞する機会を提供しました。
- (3) ピアノを使った市民参加企画は前年度より多くの参加者があり、地域のピアノ教室、愛好家との交流を深めることができました。

3 利用促進対策の成果

- (1) 貸館利用予約の変更やキャンセルなどに柔軟に対応し、利用しやすくなるよう対応しました。利用後には利用報告書を提出いただき、感想や要望などの改善に取り組みました。
- (2) 展望室を、利用の無い日に限り休憩室、自習室として一般開放することにより市民の利便性の向上に努めました。
- (3) イベント情報をはじめ利用案内などを広く周知するために、ホームページでの情報発信に努めました。

施設利用状況

1 施設別利用状況

区 分		6年度	5年度	前年度対比	
				増 減	増減率
アクトホール	利用日数	日／％ 92	日／％ 92	日／ポイント 0.0	％ 0.0
	利用可能日数	283	286	△ 3.0	△ 1.0
	利用率	32.5	32.2	0.3	
練習室	利用日数	148	152	△ 4.0	△ 2.6
	利用可能日数	283	286	△ 3.0	△ 1.0
	利用率	52.3	53.1	△ 0.8	
第1会議室	利用日数	24	31	△ 7.0	△ 22.6
	利用可能日数	283	286	△ 3.0	△ 1.0
	利用率	8.5	10.8	△ 2.3	
第2会議室	利用日数	45	45	0.0	0.0
	利用可能日数	283	286	△ 3.0	△ 1.0
	利用率	15.9	15.7	0.2	
第3会議室	利用日数	155	157	△ 2.0	△ 1.3
	利用可能日数	283	286	△ 3.0	△ 1.0
	利用率	54.8	54.9	△ 0.1	
ハイビジョンシアター	利用日数	11	13	△ 2.0	△ 15.4
	利用可能日数	283	286	△ 3.0	△ 1.0
	利用率	3.9	4.5	△ 0.6	
展望室	利用日数	3	14	△ 11.0	△ 78.6
	利用可能日数	283	286	△ 3.0	△ 1.0
	利用率	1.1	4.9	△ 3.8	
ギャラリー	利用日数	171	189	△ 18.0	△ 9.5
	利用可能日数	283	286	△ 3.0	△ 1.0
	利用率	60.4	66.1	△ 5.7	

2 来館者数

区 分	6年度		5年度		前年度対比		
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	増減率
アクトホール	件 105	人 9,105	件 104	人 7,909	件 1	人 1,196	％ 15.1
練習室	178	1,911	194	1,862	△ 16	49	2.6
第1会議室	25	245	31	369	△ 6	△ 124	△ 33.6
第2会議室	46	263	44	316	2	△ 53	△ 16.8
第3会議室	155	1,112	161	1,261	△ 6	△ 149	△ 11.8
ハイビジョンシアター	11	134	13	91	△ 2	43	47.3
展望室	3	845	14	33	△ 11	812	2460.6
ギャラリーほか	6	2,111	4	1,240	2	871	70.2
合 計	529	15,726	565	13,081	△ 36	2,645	20.2

3 利用料金収入

目 標	利用料金収入	2,500,000 円
-----	--------	-------------

区 分	6年度	5年度	前年度対比	
			増 減	増減率
施設利用料	1,206,860 ^円	813,980 ^円	392,880 ^円	48.3 [%]
設備利用料	2,042,080	1,951,700	90,380	4.6
合 計	3,248,940	2,765,680	483,260	17.5